	担当部署名		環境部公	担当課長名	西野健一					
	(※)第2期実施計画の事業名		景観保	財務会計上の事業名		景観保全事業				
	(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号		3051	2	財務会計上の短縮番号		5100			
		章	第3章人、環境にやさ	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち						
総1	合計画の体系	節	第5節良好な自然環境	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり						
		項目	項目1総合的な自然環	環境・景観の保全と緑化	の推進					

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概	Œ
1	宇宙 宇来ツ州	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()							
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	みどりの景観を保全する。							
事業の対象 (誰を、何を)	景観保全区域における事業者							
事業の手段・方法 (どのように)	五月山景観保全条例に基づく、現状変更行為の指導等							
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)							
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度							
※根拠法とその条項	五月山景観保全条例							

2 車業費等

·	区 分	27 ^左 (決:		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 ⁴ (予		H29/H28
	事業費(千円)	178		0			0		0	-
主	修繕料		178		0		0	0		-
な内										-
訳										-
	人 件 費 (人·千円)	0.23	1,748	0.15	958	0.19	1,292	0.18	1,248	126.7%
	正職員	0.23	1,748	0.11	814	0.15	1,140	0.14	1,092	136.4%
	再任用短時間勤務職員		0	0.04	144	0.04	152	0.04	156	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		1,926		958		1,292		1,248	134.9%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
	その他()									-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		1,926		958		1,292		1,248	134.9%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済 (平成	年度)		□ 2 実	施予定	Ø	3 予定無	l
	上記の内容									

3	アウ	トソ・	 ·/	ゲ証	価

3)	リトソーン	/ング評価									
現状のアウトソーシング			□ 1 すべ	て導入済	□ 2 -	一部導入済		☑ 3 未	導入		
13	スは2の場	合:導入の効果	□ コスト削	減 □ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
	T	:記の内容									
今後		3の場合:	□ 可能		不可能						
, ,		合:導入可能な業務									
		見込まれる効果	□ コスト削	減 □ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
		上記の内容									
	不可能の	場合:選択の理由	担制行政でも)、件数も少ないため。							
				7、 円数も少ない ため。	•						
4 点		就状況、有効性・3	効率性評価 			07 / 15 15	00 / ====	00 / ====	20 /7: 15	口抽法	
	実施 計画 目標	区 分	内	容	単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)	
指		活動 🗸 成果	景観保全条例	 許可申請届出件数	件	4	6	6	6	-	
標		活動 □ 成果									
値		活動 □ 成果									
,,,,,		活動 □ 成果									
		活動 □ 成果									
	成果の	達成状況	✓ A 順調	に推移している	□ви	順調に推移し	ていない		C 判断で	きない	
	選	択の理由	件数はあまり増えておらず、条例による規制や指導も適切に行っている。								
有効		戈のための有効な となっているか	☑ A 有効的である (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C 有効的でない (抜本的な見直しが必要						ぶ必要)		
性・		きは効率的に できているか	☑ A 効率的である □ B 改善の余地がある □ C 効率的でない (抜善の余地がない) □ B 改善の余地がある □ C (抜本的な見直しが必要)								
効率性:		が 受択の理由 で事業費の推移に	星細促会に星	- 併阻心亜か級弗ィ	ふスため						
評価		ら言及して記入)	从 南北 / N _ L 1 (- 3/4	景観保全に最低限必要な経費であるため。							
		及び担当部長の	評価								
		Z成29年度における う見直し(直近)	□ 実施	平成 年度	:		☑ 未実	施			
	見	直しの内容									
		F度の取組 19年度比)	□ 1 拡充	☑ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u></u>	5 その他		
	Т	:記の内容	五月山の景観	見を保全するため、纟	条例による	規制や指導を	を行っていく	, , ,			
現在	抱える課題	課題	規模の大きい	造成・開発への指導	尊・監督、専	『門職員 不足	1				
7	の対策	対 策	関係部局との	連携を密にとり、適	切な指導を	:行う。					
		上記の	評価を踏まえ	て、担当部長が考	える今後	(平成31年	度以降)の	取組方針			
	取約	且方針	□ 1 拡充	☑ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	止	5 その他		
	遵	学択の理由	条例の周知徿	対底を図ると共に、関	関係部署と	の連携により	、景観の保	全に取り組	t.		

	担当音	『署 名		環境部公	園みどり課		担当課長名		西野	西野健一		
()	※)第2期実施	計画の事業名	五月山山麓·山間緑地保全事業			財務会計	上の事業名	五月山山麓	竜・山間緑均	也保全事業		
	(※) 第2期3 分類番号/		30	51	;	3	財務会計上	の短縮番号				
		章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち									
総合記	計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり									
		項目	項目1総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進									
1 1	務事業の	Hant mar				※総合	計画第6章に	係る事業は「治	也田市行財政は	改革推進プラ	ンⅡ」による。	
		N女 計名を記入)	☑ 一般	会計	□ 特別	会計 ()		企業会計	()	
(事業の)目 的 :果を得るか)	五月山の絲	录の保全と活	5月を図る							
	事業の	対象	市民と利用	者								
	事業の手 (どの)		要綱による保全緑地の買取、市民活動による里山の保全と活用									
	実施	期間	☑ 継続	(平成	年度~)		□ 時限	(平成	年度 ~	平成	年度)	
	実施	根 拠	□ 国•用	句制度		国・府の制	度+市独自	の制度	☑ 市独自	自の制度		
	※根拠法と	その条項										
2 事	業費等											
	区	分	27 ⁴ (決	手度 算)	28 ⁴ (決		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28	
	事業費	費(千円)		0		0		0		0	-	
主な											-	
内訳											-	
	1 /4- 神.	(1.4m)	0.10	CEO	0.15	0.50	0.01	1 444	0.01	1 400	140.0%	
	人件費	正職員	0.10	652 532	0.15	958 814	0.21	1,444 1,292	0.21	1,482	154.5%	
		時間勤務職員	0.07	0	0.11	144		152		1,520		
内		員(フルタイム)	0.03	120	0.01	0		0		0	-	
訳	任期付職員	員(短時間勤務)		0		0		0		0	-	
	非常	常勤職員		0		0		0		0	-	
	臨時的	的任用職員		0		0		0		0	-	
支出合計A				652		958		1,444		1,482	150.7%	

国·府支出金

地方債

うち受益者負担 B

652

100.0%

□ 1 実施済(平成

958

100.0%

年度)

1,444

100.0%

□ 2 実施予定

1,482

100.0%

✓ 3 予定無し

150.7%

100.0%

取組方針

選択の理由

に努める。

一般財源 C

一般財源比率 C÷A

受益者負担率 B÷A

受益者負担の見直し

上記の内容

その他(

財

源

3 アウトソーシング評価 現状のアウトソーシング □ 1 すべて導入済 □ 2 一部導入済 ✓ 3 未導入 1又は2の場合:導入の効果 □ サービス向上 □ 事務簡略化 □ コスト削減 一 その他 上記の内容 2又は3の場合: 可能 ✓ 不可能 今後の直営部分のアウトソーシング 可能の場合:導入可能な業務 見込まれる効果 □ コスト削減 □ サービス向上 □ 事務簡略化 □ その他 上記の内容 不可能の場合:選択の理由 要綱に則って五月山の保全緑地を買い取る事業であるため、外部委託はできない。 4 成果の達成状況、有効性・効率性評価 27 年度 28 年度 29 年度 30 年度 目標値 容 単 位 (実績) (実績) (実績) (予定) (H30) 山林買収面積 m² 0 0 ☑ 活動 □ 成果 0 0 □ 活動 □ 成果 □ 活動 □ 成果 □ 活動 □ 成果 □ 活動 □ 成果 成果の達成状況 □ A 順調に推移している □ B 順調に推移していない ✓ C 判断できない 選択の理由 五月山の保全に一定の成果が得られているが、まだ充分とは言えない。 目的達成のための有効な 有効的である 有効的でない (抜本的な見直しが必要) ✓ A (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある□ C 内容となっているか 事業は効率的に 効率的である 効率的でない ✓ A (改善の余地がない) □ B 改善の余地がある□ C (抜本的な見直しが必要) 実施できているか 選択の理由 平成24年度以降は山林買収はないが、寄付による山林取得をするなど五月山の保全に対して一定 (指標値や事業費の推移に の成果を得られている。 ついても言及して記入) 5 課題と対策及び担当部長の評価 平成25年度~平成29年度における □ 実施 平成 年度 ✓ 未実施 事業内容の見直し(直近) 見直しの内容 平成30年度の取組 □ 1 拡充 2 現状維持 □ 3 縮小 □ 4 廃止 □ 5 その他 (平成29年度比) 要綱による保全緑地の買取、市民活動による里山の保全と活用 上記の内容 多くの私有地が存在する。 課題 現在抱える課題 その対策 申し出があれば、寄付や買収により五月山の保全に努める。 上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針

□ 1 拡充 ☑ 2 現状維持 □ 3 縮小 □ 4 廃止 □ 5 その他

また、土砂災害から人命財産を守るためにも災害対策を少しずつ進めていく必要がある。

申し出があれば、積極的に取得を目指すとともに、市民団体とも協働して里山としての五月山の保全

担当部	部署名	環境部公	担当課長名	西野健一					
(※) 第2期実施	計画の事業名	緑化推	財務会計上の事業名		緑化推進事業				
	実施計画の /事業番号	3051	4	財務会計上の短縮番号		5201			
	章	第3章人、環境にやさ	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち						
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり						
	項目	項目1総合的な自然環							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概	Œ
1	宇宙 宇来ツ州	

	会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()					
	事業の目的 (どのような結果を得るか)	五月山の保全と緑化、花いっぱい運動の展開、保存樹木等の管理助成、緑化意識の啓発等					
I	事業の対象 (誰を、何を)	池田市民、保存樹木等の所有者					
	事業の手段・方法 (どのように)	植栽、草花・苗木の配布、保存樹木等管理用資材の配布					
	実施期間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)					
Ī	実施根拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度					
※根拠法とその条項 池田市環境保全条例(保存樹木等)							

2 車業費等

2 号	来實等									
	区 分	27 ^全 (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 ⁴ (予		H29/H28
	事業費(千円)	3,835			5,512		4,477		4,872	81.2%
主	消耗品費		2,000	2,183			1,959		2,000	
な内	原材料費		404		337		267		450	79.2%
訳	委託料		649		1,492		1,186	1,422		79.5%
	人 件 費 (人·千円)	0.39	2,244	0.18	1,180	0.21	1,444	0.20	1,404	116.7%
	正職員	0.19	1,444	0.14	1,036	0.17	1,292	0.16	1,248	121.4%
	再任用短時間勤務職員		0	0.04	144	0.04	152	0.04	156	100.0%
内	管理公社職員	0.20	800		0		0		0	_
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	_
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	_
	支 出 合 計 A		6,079		6,692		5,921		6,276	88.5%
	国·府支出金		340	991		138		991		13.9%
財	地方債									-
,	その他()		723	732			930		734	127.0%
源	うち受益者負担 B									_
	一般財源 C		5,016		4,969		4,853		4,551	97.7%
	一般財源比率 C÷A		82.5%		74.3%		82.0%		72.5%	110.4%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実施済(平成		年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		l
	上記の内容									

3	アウ	トソ・	 ·/	ゲ証	価

3 7	<u> プトン</u>	<u>/ーシ</u>	ング評	価										
現状のアウトソーシング						□ 1 すべて導入済 □ 3 未導入							導入	
13	(は2	の場合	合:導入	の効果		□ コスト削減 □ サービス向上 ☑ 事務簡略化 □ その他 ()
		上	記の内容	容	森林病	森林病害虫の防除事業を委託している。								
今後			の場合のアウトン	: リーシング	⊿ ፣	 ✓ 可能 □ 不可能								
				可能な業務	植栽、草花・苗木の配布、保存樹木等管理用資材の配布									
		見	見込まれ	る効果	_ =	□ コスト削減 🔽 サービス向上 🗌 事務簡略化 🗌 その他 (
			上記	の内容	資材なる	と配布方	法を検討す	る。						
	不可	能の対	場合:選	択の理由										
_					er es mrs	at tu:								
4 Д	実施		沃 龙、	有効性・3	少学性	平1 四				27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	計画目標		区	分		内	容		単 位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指		Ø	活動	□ 成果	花レ	っぱい	運動花苗配	布数	株	22,546	21,240	18,787	19,000	22,550
標	☆	Ø	活動	□ 成果		保存權	財木指定数		本	65	64	63	63	65
値	☆	Ø	活動	□ 成果		花いっぱ	『い運動団体	ż	団体	31	31	30	30	35
			活動	□ 成果										
	□ 活動 □ 成果													
	成果の達成状況					A 順調	に推移してい	いる	☑ в №	[調に推移し	ていない		C 判断で	きない
	選択の理由					配布数	が団体数の	減少等	により減少	0				
有効							効的である 善の余地が	ない)	В₫	女善の余地が	ぶある 🗌		りでない 的な見直しか	ぶ必要)
性・			は効率にできてい		Ø		率的である 善の余地が	ない)	□В₫	女善の余地が	ぶある 🗌		りでない 的な見直しか	ぶ必要)
効率性評価		票値や	択の理! 事業費 言及し	の推移に						目まって市内 いる状況で		てきたが、近	年は団体数	の減少や
_				当部長の	評価									
			成29年度見直し	度における (直近)	2 3	実施	平成 26	6 年度			□ 未実	施		
		見ī	直しの内]容	助成制	度の一	環として簡	易の樹っ	木診断を実	施				
	平成30年度の取組 (平成29年度比) □ 1 拡充 ☑ 2 現状維持						持	3 縮小	□ 4 廃	企 止	5 その他			
上記の内容 平成27年度より施行した保存樹林の補助金制度を引き約							続き実施							
現在抱える課題 課題 保存樹木等の適正な網						適正な維持								
その対策 対策 保存樹木の簡素						木の簡	易樹木診断	折の実施	i、保存樹材	トの補助制原	度の施行			
上記の評価を						踏まえて	て、担当部	長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針		
		取組	1方針			拡充	⊘ 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	E止 □	5 その他	
		選	択の理	由	者に助	成制度		も含めた	と適正管理	を呼びかけ		ため、引き いっぱい運動		
								_		_	_	_	_	

担当	部署名	環境部公	園みどり課	担当課長名	西野健一			
(※) 第2期実施	計画の事業名	街路樹等	財務会計上の事業名		街路樹等管理事業			
	実施計画の /事業番号	3051	6	財務会計上	の短縮番号	5198		
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち						
総合計画の体系	計画の体系 第 第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
項目 項目1総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進								

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

|--|

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計 () □ 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	街路樹等の良好な状態の保持
事業の対象 (誰を、何を)	街路樹等
事業の手段・方法 (どのように)	(一財)池田みどりスポーツ財団に補助金を支出し、維持管理業務を実施している。
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 4	F業費等									
	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 年度 (予算)		H29/H28
	事業費(千円)		26,824	21,091		21,000		22,107		99.6%
主な	補助金		26,824		21,091		21,000		22,107	99.6%
内										-
訳										-
	人 件 費 (人·千円)	0.30	2,280	0.15	920	0.19	1,254	0.17	1,209	126.7%
	正職員	0.30	2,280	0.10	740	0.14	1,064	0.14	1,092	140.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0.05	180	0.05	190	0.03	117	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		29,104		22,011		22,254		23,316	101.1%
	国·府支出金									_
財	地方債									-
,	その他()									-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		29,104	22,011		22,254			23,316	101.1%
	一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%		100.0%			100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実	施予定		3 予定無	L
	上記の内容									

	ーシン		

3 /	ワトシー	シンク評価										
	現状のア	ウトソーシング	☑ 1 すべて導入済 □ 2 一部導入済							導入		
13	スは2の場	計合:導入の効果		□ コスト削減 □ サービス向上 ☑ 事務簡略化 □ その他 (
		上記の内容	(一貝	(一財)池田みどりスポーツ財団に補助金を支出して維持管理を実施								
今後		t3の場合: 分のアウトソーシング		可能		不可能						
	可能の場	場合:導入可能な業務										
		見込まれる効果		コスト削減	丸 □ サ-	ービス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>tt</u> ()	
		上記の内容										
	不可能の	」 D場合:選択の理由										
4 5	は果の達	成状況、有効性・	効率性	+評価								
	実施計画	区分		内	容	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値	
	目標						(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指	₽	引活動 □ 成果	:	樹木の	伐採本数	本	16	4	1	5	-	
標												
値												
		□ 活動 □ 成果		A 16Z≃ED):	-14-th)> . 7		(E=0) - 44.76)			a skutikr	3-3-1	
		D達成状況 異択の理由			2推移している		順調に推移し	~ (v v\$v v		C判断で	5/LV,	
_		成のための有効な		右右	な維持管理が出				_ 有効的	的でない		
有効性	内容	となっているか 業は効率的に		A (改	善の余地がない) 室的である	□ B	改善の余地が	ぶある 🗌	(抜本	的な見直した 的でない	5必要)	
効		をできているか] A (改	善の余地がない)	∠ B	改善の余地が	ぶある 🗌		的な見直した	ぶ必要)	
率性評価	(指標値	選択の理由 ・や事業費の推移に も言及して記入)			どりスポーツ財団 日常管理や緊急							
_		東及び担当部長 の	の評価									
		平成29年度における の 見 直 し(直近)		実施	平成 年月			☑ 未実	施			
	見	見直しの内容										
		年度の取組 29年度比)		1 拡充	☑ 2 現状約	維持 🗌	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他		
		上記の内容	半永	久的な継続	売事業の為							
現在	抱える課題	課題	道路	整備時に	封路樹も併せて	整備した為、	街路樹が現	在の道路の	規模と乖離	乱ている。		
その対策 対策 計画的かつ長期的な視野					朝的な視野に立む	った上で、往	新路樹の再整	を備を実施す	たる。			
		上記の	評価	を踏まえて	、担当部長が表	考える今後	(平成31年	度以降)の	取組方針			
	取	組方針] 1 拡充	☑ 2 現状約	維持 🗌	3 縮小	□ 4 廃	£11:	5 その他		
	i	選択の理由	人と	緑の共存・	共生が必要であ	り、バランス	のとれた適り	のな維持管理	里が必要。			

担当部署名				環境部公	園みどり課		担当課長名 西野健一							
()	※)第2期実施	計画の事業名					財務会計」	上の事業名		緑化事業				
		実施計画の /事業番号					財務会計上	の短縮番号		5180				
		章	第3章人	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち										
総合詞	計画の体系	節	第5節良	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり										
		項目	項目1総	項目1総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進										
						※総合	計画第6章に	係る事業は「湘	也田市行財政は	改革推進プラ	ンⅡ」による。			
	「務事業の 合計区分(4	微安 計名を記入)	⋈ →	마스타 -	□ 特別:	公計 ()		企業会計	()			
	事業の	の目的	_	保全と緑化		AH (工 来五印					
(吉果を得るか) の対象		水土と豚に										
	(誰を	、何を)	五月山											
		段・方法ように)	適切な草	刈、活動団の	本への支援	(草刈、花・	木配布)							
	実施	期間	☑ 継続	売(平成	年度~)		□ 時限	(平成	年度 ~	平成	年度)			
	実施	根拠	□ 国·	府の制度		国・府の制	度+市独自	の制度	☑ 市独自	自の制度				
※根拠法とその条項														
2 導	業費等													
区 分				年度 決算)	28 4	年度 算)	29 ⁴ (決	手度 算)	30 年		H29/H28			
	事業費(千円)			2,586		2,674		2,689		2,818	100.6%			
主	植栽管理委託料			2,268		2,430		2,484		2,500	102.2%			
主な内	原	原材料費		250		177		139		250	78.5%			
訳	ii	肖耗品費		68		68		66		68	97.1%			
	人件費	(人・千円)	0.2	0 1,520	0.14	884	0.19	1,292	0.20	1,404	135.7%			
		正職員	0.2	0 1,520	0.10	740	0.15	1,140	0.16	1,248	150.0%			
	再任用短	豆時間勤務職員		0	0.04	144	0.04	152	0.04	156	100.0%			
内	任期付職	岐員(フルタイム)		0		0		0		0	-			
訳	任期付職	員(短時間勤務)		0		0		0		0	-			
	非	常勤職員		0		0		0		0	-			
	臨時	的任用職員		0		0		0		0	_			
	支 出	合計A		4,106		3,558		3,981		4,222	111.9%			
	国•	府支出金									-			
財	地方債										-			
	その他()									-			
源	うち	受益者負担 B									-			
一般財源 C				4,106		3,558		3,981	4,222		111.9%			
	一般財源均	上率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%			
	受益者負担	□率 B÷A									-			
	受益者負	担の見直し	□ 1	実施済(平成	文 年度))	□ 2 実	施予定	\square	3 予定無	l			
	上	記の内容												

3 アウトソーシング評価			
現状のアウトソーシング	□ 1 すべて導入済 🗸 2 一部導入済	□ 3 未導入	
1又は2の場合:導入の効果	☑ コスト削減 □ サービス向上 □ 事務簡略化	□ その他 ()
上記の内容	ボランティア団体が草刈等を実施している。		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	□ 可能 ☑ 不可能		
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	□ コスト削減 □ サービス向上 □ 事務簡略化	□ その他 ()

1又	(は20))場合	1:導/	人の効果		コストド	削減		」 サー	ビス向上	事	务簡略化		その作	<u>h</u> ()
		上	記の内	容	ボラン	ケィア国	団体が	草刈等を	と実施して	ている。						
今後			の場合のアウト	計: ・ソーシング		可能			Ø	不可能						
	可能6	の場合	↑:導入	可能な業務												
		見	し込まれ	にる効果		コストド	削減		」サー	ビス向上	事	务簡略化		その作	<u>łı</u> ()
			上詞	記の内容												
	不可能	能の均	易合:道	選択の理由	アウト	ソーシン	グ出来	ドる業務	は全て行	iっている。						
4 成	果の	達成	状況、	有効性・3	効率性	評価										
	実施計画		玄	分		内		容		単位	27 年度	28 年度	29	年度	30 年度	目標値
	目標	,		<i></i>		r i		41		平址	(実績)	(実績)	(5	実績)	(予定)	(H30)
指		Ø	活動	□ 成果		五月	山の草	[刈面積	ŧ	m²	13,200	13,200	13	3,200	13,200	13,200
標			活動	□ 成果												
値			活動	□ 成果												
			活動	□ 成果												
			活動	□ 成果												
	成身	果の記		沈況	Ø	A 順詞	調に推	移して	いる	□В∭	頁調に推移	らしていない			C 判断で	きない
	選択の理由					山の活	動団体	本を支持	受し、また	適切な緑地	也保全を行	_{すっている。}				
有								が必要)								
性・			は効率 できてい		Ø]である)余地が	ない)	□В₫	女善の余地	がある 🗌	С		的でない 的な見直しz	が必要)
効率性評価		値や		曲 費の推移に て記入)	五月	山の適	切な網	录地保全	とになっ	ている。						
5 鹊	題と対	対策.	及び担	1当部長の	評価											
				度における し(直近)		実施	<u>v</u>	平成	年度			☑ 未実	施			
		見正	直しのド	内容												
			度の耶 年度			1 拡き	充	2 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 房	壓止		5 その他	
上記の内容 緑化保全は半永久的な継							迷続事業	の為								
現在	抱える	課題	Ī	果題	ボランティア団体の高齢化による活動範囲の縮小が懸念される。											
その対策 対策 ボランティア活動団体の充実及びボランティア活動に対する支援を実施する。																
				上記の	評価を	と踏まえ	えて、扌	担当部	長が考	える今後(平成31年	F度以降)σ	取組	1方針		
		取組	L方針			1 拡き	充	2 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 房	新		5 その他	
		强:	択の理	₽曲	五日	山の緑	化保全	とのたみ	5 "市民	-の奔をつく	'み会"の泪	「動を支援」	ていく	'心要剂	ぶあスため	

8署名	環境部公	担当課長名	当課長名 西野健一				
計画の事業名			財務会計」	上の事業名	緑の基本計画策定事業		
実施計画の /事業番号			財務会計上	5185			
章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち						
総合計画の体系 節 第5節良好な自然環境を生かし							
項目 項目1総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進							
	計画の事業名 皮施計画の 事業番号 章	計画の事業名 販施計画の 事業番号 章 第3章人、環境にやさ 節 第5節良好な自然環境	計画の事業名 実施計画の 事業番号 章 第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち 節 第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり	計画の事業名	計画の事業名 東施計画の 事業番号 章 第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち 節 第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり		

1	事務事業	の無田
1	学份学来	リノヤスマ

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	緑地の保全や緑化推進に関し目標を定め、緑の施策や公園整備等を総合的かつ計画的に推進するため
事業の対象 (誰を、何を)	市内一円の緑化
事業の手段・方法 (どのように)	市域の緑に関する現状調査や課題の整理及び緑の施策の基本方針とその方向性を定める
実 施 期 間	□ 継続(平成 年度~) ☑ 時限(平成 29 年度 ~ 平成 30 年度)
実施根拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市緑地法

2 車業費等

	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 ⁴ (予	年度 算)	H29/H28
	事業費(千円)						2,786		3,500	-
主	委託料						2,786		3,500	-
な内										-
訳			_							-
	人 件 費 (人·千円)	0.00	0	0.00	0	0.16	1,216	0.21	1,638	-
	正職員		0		0	0.16	1,216	0.21	1,638	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		0		0		4,002		5,138	-
	国·府支出金									-
財	地方債									-
	その他()						2,786		3,500	-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		0		0		1,216		1,638	-
	一般財源比率 C÷A						30.4%		31.9%	_
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	医施済 (平成	年度))	□ 2 実	施予定		3 予定無	L
	上記の内容									

•		トソー		12 AT	-
.3	71/	トソー	ンン	ク辞	1M)

3 /	ソアン	<u> </u>	ンク評価	Щ										
	現状の	のアウ	トソーシン	ノグ	Ø	1 すべ	て導入済		□ 2 -	一部導入済		□ 3 未	導入	
13	Zは20	の場合	合:導入(の効果		コスト削	咸	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
		上	記の内容	F	計画的	策定のため)、専門知	識を持つ業	者に委託					
今後			の場合:	ーシング		可能			不可能					
	可能	の場合	計:導入可	能な業務										
		見	し込まれる	5効果		コスト削	咸	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
			上記の	の内容										
	不可	能の場	場合:選抜	尺の理由										
4 反	く果の	達成	状況、有	す効性・	办率付	評価								
	実施 計画 目標	1	ヹ	分		内	茗	3	単位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
指			活動	☑ 成果		市街化區	区域の緑被	[率	%			16.9	16.9	-
標			活動	」成果										
値			活動	□ 成果										
			活動] 成果										
			活動	」 成果										
	成	果のi	達成状 涉	7		A 順調	に推移し	ている	□в∭	頁調に推移し	ていない	Ø	C 判断で	きない
		選	択の理由	ь	緑の	基本計画	に基づき	、今後、具	体的に緑	の施策を進	めていくこと	で判断可能	言となるため	0
有効			のための なってい		Ø		効的である 善の余地		□В₫	攻善の余地 が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
性・効			は効率的 できている		Ø		率的である 善の余地		□В₫	枚善の余地が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
勿率性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	の推移に	今後	、基本方	針に基づ	き、具体的	的な緑の施	策を推進し ⁻	ていく。			
				当部長の	評価									
			成29年度 見 直 し(実施	平成	年度			☑ 未実	施		
		見正	直しの内容	容										
			度の取約 年度比)			1 拡充	2 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他	
		上	記の内容	F				緑の現状 本方針を3		Z基づき、平	成30年度に	は緑地等の	整備方針の	検討を行
現在	抱える	課題	課	題	量より)質の高い	「みどり」	をどのよう	な手法で持	推進していく	かが課題			
7	の対象	策	対	策	緑を ⁴	守る施策、	再生する	が施策及で	が育む施策 しょうしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	を基本計画	で策定し、	計画的に進	めていく。	
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当部	部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針		
		取組	1方針			1 拡充	2 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	止 🗆	5 その他	
		選	択の理由	Ħ	緑化進協	施策は行議会等と	政主導だ連携をとり	けでは限 あって、約	界があるた 录化活動を	め、今後も継続的に進	引続き、緑化 めていく必	と活動団体 要がある。	や地域コミュ	ュニティ推

担当	部署名	環境部公	園みどり課	担当課長名	西野健一				
(※)第2期実施	配計画の事業名	公園維持	財務会計上	この事業名	公園維持管理事業				
	実施計画の /事業番号	3052	1	財務会計上の短縮番号		5140			
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
	項目	項目2都市計画公園の	の整備						

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計 () □ 企業会計 ()							
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民1人当りの公園面積10㎡以上の確保、公園の良好な状態の維持							
事業の対象 (誰を、何を)	公園							
事業の手段・方法 (どのように)	必要な土地を借地し、市民に対して公園の提供及び維持管理							
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)							
実 施 根 拠	☑ 国·府の制度 □ 国·府の制度 + 市独自の制度 □ 市独自の制度							
※根拠法とその条項	都市公園法施行令第1条の2							

	区分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)	
	事業費(千円)	(5)	67,477	(5.4	48,323		62,920		70,594	130.2%
主	土地借上料	17,719		17,709			17,681	17,764		99.8%
な内	植栽管理委託料		15,193		11,005		11,146		11,176	101.3%
訳	修繕料		32,901		17,557		23,348		17,958	133.0%
	人 件 費 (人・千円)	0.40	2,840	0.21	1,364	0.25	1,710	0.25	1,755	119.0%
	正職員	0.35	2,660	0.16	1,184	0.20	1,520	0.20	1,560	125.0%
	再任用短時間勤務職員	0.05	180	0.05	180	0.05	190	0.05	195	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	_
	支 出 合 計 A	70,317		49,687		64,630		72,349		130.1%
	国·府支出金							8,000		_
財	地方債									-
源	その他()		19,641	48,323		61,425			25,765	127.1%
仍只	うち受益者負担 B		19,177		47,996		61,425		25,765	128.0%
	一般財源 C		50,676		1,364		3,205		38,584	235.0%
	一般財源比率 C÷A		72.1%		2.7%		5.0%		53.3%	180.6%
	受益者負担率 B÷A		27.3%	96.6%		95.0%		35.6%		98.4%
	受益者負担の見直し	□ 1 実施済(平成		年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		L
	上記の内容									

	ーシン		

3 /	ソロン	<u>/ーン</u>	ンク評価	Щ												
	現状	のアウ	トソーシ	ング		1 す	べて導え	入済		2 2	一部導入	.済		□ 3 ≉	卡導入	
13	(は2	の場合	合:導入	の効果		コストド	削減] サー	ビス向上	☑ ∄	F務簡	略化	□ その	他 ()
		上	記の内容	?	植栽	管理につ	ついて委	託して	いる。							
今後			の場合:			可能			Ø	不可能						
	可能	の場合	分:導入可	能な業務												
		見	し込まれる	5効果		コストド	削減		」サー	ビス向上	□ 事	務簡	略化	□ その	他 ()
			上記の	の内容												
	不可	能の対	場合:選打	沢の理由	公園	管理者と	:して行う	事業の	のためアウ	カトソーシン	グはできた	ない。				
4 5	と果の	達成	状況、有	有効性・タ	カ率性	評価										
	実施計画		区	分		内		容		単位	27 年	度 2	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標										(実績	雪)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指				」 成果		有值	貨借地公	園数		箇所	8		8	8	8	-
標				」 成果												
値				」 成果												
				成果												
	 		活動 [産成状液	成果		A 加石=	細)ァ₩:	E01 ~	7 \7		百部リテ州	501 T	1 1421 1		C #11#2-	グキナン 、
	JJX.		状の理目		~	A 順	in) (□1E/	多しく	('S	□ B J	只可(二1年	炒して	V 12V 1		C 判断	CSAN
有	目白		のための				有効的*	である			4. 差 ホ ∧	1:16.273-		。 有努	的でない	
効性			:なってい は効率的			,	(改善の 効率的)		ない)		改善の余			が落	k的な見直し B的でない	が必要)
効			できてい		Ø		改善の		ない)	В	改善の余	地がある	る 🗌		いかな見直し	が必要)
率性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	の推移に	適切	な公園	の維持	管理0	の確保が	出来てい	5.					
				当部長の	評価											
			成29年度見直し			実施	平	成	年度			Ę	☑ 未実	施		
		見正	直しの内容	容												
			度の取約 毎度比)			1 拡き	充 🕻	2 2	現状維	持	3 縮力	\ [] 4 廃	<u> </u>	5 その化	<u>h</u>
		上	記の内容	?	半永	久的な	継続事	業のâ	\$							
現在	抱える	。 課題	課	題	利用	頻度の	低い公	園が地	曽えてき	ている。						
その対策 対策				策		統廃合も視野に入れた公園の再配置を含め、公園整備基金(案)といった現在利用頻度が少ない公園などの売却に伴う財源確保など、質の向上を検討する必要がある。										
				上記の記	評価を	と踏まえ	えて、担	当部	長が考	える今後	(平成31	L年度	以降)の	取組方針	ŀ	
		取組	1方針		Ø	1 拡	充 [2	現状維	持	3 縮力	\ [] 4 廃	<u> </u>	5 その他	<u>11</u>
		選	択の理師	Ħ	住民		ミュニ	ティ推								いて、地域 いく仕組み

担当部	部署名	環境部公	園みどり課	担当課長名	西野健一				
(※)第2期実施	計画の事業名	開設公園維	財務会計上の事業名		開設公園維持管理事業				
	実施計画の /事業番号	3052	2	財務会計上の短縮番号		5150			
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
	項目	項目2都市計画公園の							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概	Œ
1	宇宙 宇来ツ州	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()						
事業の目的 (どのような結果を得るか)	開設公園の良好な状態の維持						
事業の対象 (誰を、何を)	開設公園						
事業の手段・方法 (どのように)	一財)池田みどりスポーツ財団に補助金を支出し、維持管理業務を実施している。						
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)						
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度						
※根拠法とその条項	都市公園法施行令第7条						

		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		
区 分		(決:		(決算)		(決算)		(予		H29/H28
	事業費(千円)		255,905		236,361		235,618		252,987	99.7%
¥	補助金		255,905	236,361			235,618	252,987		99.7%
主な内										-
訳										-
J	、件 費 (人·千円)	0.61	4,636	0.14	922	0.19	1,330	0.17	1,209	135.7%
	正職員	0.61	4,636	0.11	814	0.16	1,216	0.14	1,092	145.5%
	再任用短時間勤務職員		0	0.03	108	0.03	114	0.03	117	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	_
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		260,541		237,283		236,948	254,196		99.9%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
, .	その他()		47,306		19,268		6,278		45,978	32.6%
源	うち受益者負担 В		46,102		17,889		4,975		45,978	27.8%
	一般財源 C		213,235		218,015		230,670		208,218	105.8%
-	一般財源比率 C÷A		81.8%		91.9%		97.4%		81.9%	106.0%
3	受益者負担率 B÷A		17.7%		7.5%		2.1%		18.1%	27.8%
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)] 2 実	施予定	Z	3 予定無	l
	上記の内容									

3	アウ	トソ・	 ·/	ゲ証	価

<u> </u>	717	ンノク 計価	_								
	現状のア	ウトソーシング	Ø	1 すべて	導入済	□ 2 -	一部導入済		□ 3 未	導入	
1又	【は2の場	計合:導入の効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
		上記の内容	(一則	オ)池田みどり	0スポーツ財団に補	助金を支出	して維持管理	里を実施			
今後	2又にの直営部	t3の場合: 分のアウトソーシング		可能		不可能					
	可能の場	場合:導入可能な業務									
		見込まれる効果		コスト削減	i	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()
		上記の内容									
	不可能の	り場合:選択の理由									
4 月	、果の達	成状況、有効性・	効率性	 生評価							
	実施計画	区 分		内	容	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標				the transmitted site		(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指		引活動 □ 成果		舌情・陳作	青処理件数	件	512	509	533	518	-
標] 活動 🗌 成果									
値] 活動 □ 成果 									
] 活動 🗌 成果									
		つ達成状況	N	- A 順調な		Пв∥	 頁調に推移し	ていたい		C 判断で	きたい
市民等からの苦情・要望					情・要望が多岐に	 こわたるた&					
有		成のための有効な となっているか	風の	有效	持管理に苦慮してい かがである 鼻の余地がない)		改善の余地が	iある 🔲		りでない 的な見直した	以公童)
効性・	事	業は効率的に をできているか		」 A 効率	型的である 蜂の余地がない)	Ві	改善の余地が	ある 🗌	c 効率的	りでない 的な見直した	
効率性評価	(指標値	選択の理由 や事業費の推移に も言及して記入)		財)池田みと	ジリスポーツ財団内 日常管理や緊急				管理区分を	廃止し、作	業区分でま
_		東及び担当部長の	評価								
平成事	25年度~	平成29年度における の見直し(直近)		実施	平成 年度			☑ 未実	施		
	見	見直しの内容									
		年度の取組 29年度比)		1 拡充	✓ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	£11 🗆	5 その他	
		上記の内容	半永	久的な継続	売事業の為						
現在	抱える課題	課題	利用	頻度の低い	公園の増加や公	園のありた	5の変化。(4	少子化、子信	共の公園離	れ、高齢者	の利用など
そ	の対策	対 策		状況の把握 する必要が	星等を行った上で. ぶある。	、ニーズの	少ない公園	の統廃合や	ニーズの高	い公園の質	質の向上を
		上記の	評価を	を踏まえて	、担当部長が考	える今後	(平成31年	度以降)の	取組方針		
	取	組方針] 1 拡充	☑ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	正	5 その他	
	ì	選択の理由		今後も開設公園の良好な状態を維持するためには、現在ある公園を機能別に整理し、適切な維持 管理を実施する必要がある。							

担当部	部署名	環境部公	担当課長名	西野健一					
(※) 第2期実施	計画の事業名	開設公園	財務会計上の事業名		開設公園改修工事				
	実施計画の /事業番号	3052	3	財務会計上の短縮番号		5175			
	章	第3章人. 環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり						
	項目	項目2都市計画公園の							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()						
事業の目的 (どのような結果を得るか)	開設公園の再整備						
事業の対象 (誰を、何を)	開設公園						
事業の手段・方法 (どのように)	引設公園の再整備工事及び大規模改修						
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)						
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度						
※根拠法とその条項	都市公園法施行令第7条						

2 4	F業費等				_			_		
	区 分	27 ^全 (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 ⁴ (予	丰度 算)	H29/H28
	事業費(千円)		38,950		18,360		34,697		31,000	189.0%
主な	請負費		38,950		18,360		34,697	31,000		189.0%
内										-
訳										-
	人 件 費 (人·千円)	0.55	4,180	0.20	1,480	0.21	1,596	0.26	2,028	105.0%
	正職員	0.55	4,180	0.20	1,480	0.21	1,596	0.26	2,028	105.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	_
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		43,130		19,840		36,293		33,028	182.9%
	国·府支出金									_
財	地方債									-
	その他()		3,472							-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		39,658		19,840		36,293		33,028	182.9%
	一般財源比率 C÷A		91.9%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									_
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済 (平成	年度)		□ 2 実施予定			3 予定無	L
	上記の内容									

アウ			

<u> </u>	ソトノー	V V / A	ТІЩ										
	現状のア	ウトソージ	シング		1 すべて	導入済		□ 2 -	部導入済	:	☑ 3 未	導入	
1又	くは2の場	場合:導力	入の効果		コスト削減	į (] サー	ビス向上	□ 事務	肾 簡略化	□ その	也 ()
		上記の内	容										
今後		t3の場合 分のアウト	計: -ソーシング		可能		Ø	不可能					
			可能な業務										
		見込まれ	にる効果		コスト削減	j 5	コ サー	ビス向上	□ 事彩		□ その	也 ()
		上言	記の内容										
	不可能の	り場合:通	選択の理由	工事	については、	アウトソー・	シングの孝	きえ方は無い	۰,				
/	建の海	联44 45	有効性・3	カ 水 松	上載価								
- ~	実施計画	K K	分	27 1	内	容		単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標		20				-	平 位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指	☆ 🔽	活動	□ 成果		工事	の件数		件	7	3	4	5	11
標		活動	□ 成果										
値			□ 成果										
			□ 成果										
		活動	□ 成果			10.56							
		り達成状		-	☑ A 順調に推移している □ B 順調に推移していない							C 判断で	きない
		選択の理	世田 の有効な	適切	に工事を実	を施してV か的である					右為	的でない	
有効性	内容	となって	いるか		A (改言	身の余地/	がない)	□В₫	女善の余地	がある 🗌	(抜本	的な見直した	ぶ必要)
性・効		業は効率 値できてい		Ø		的である 多の余地		□В₫	女善の余地	がある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
率性評		選択の理		適切	に工事を集	三施してい	いろ.						
価	ついて	も言及し	て記入)	22.74	(-14-6)	C., C.	Φ0						
_			旦当部長の	評価									
	業内容		度における し(直近)		実施	平成	年度	:		☑ 未実	施		
	見	見直しのP	内容										
		年度のI 29年度に			1 拡充	2 2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他	
		上記の内	容	公園	管理者の責	貴務として	こ、引き続	き公園施設	との更新を	実施していく	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
現在	抱える課題		果題	遊具	の老朽化に	こより、使	用禁止措	昔置や撤去-	せざるを得	ない状況が	多く苦慮し	ている。	
そ	の対策	Ż	対 策					推移を適切 に施する必易		が故を未然に	防ぐ管理引	三法である予	·防保全型
			上記の	評価を	と踏まえて	、担当部	『長が考	える今後(平成31年	三度以降)の	取組方針		
	取	組方針		Ø	1 拡充	<u> </u>	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他	
	ì	選択の理	里由	今後も遊具の長寿命化を図り、市民が安心して利用できる都市公園の補修・改修を進めていく必要がある。 あわせて、今後の維持管理費用の増大が見込まれる中、本当に必要な公園施設を検討し、再編成も									
					である。		-21,19	A /u					

担当部	部署名	環境部公	担当課長名	西野健一					
(※) 第2期実施	計画の事業名	開設公園再	財務会計上の事業名		開設公園再整備事業				
	実施計画の /事業番号	3052	4	財務会計上の短縮番号		5288			
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり						
	項目	項目2都市計画公園の							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概要	U
L	学の学术が残る	ρ

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	公園利用者が安心して利用できる安全な公園にする。
事業の対象 (誰を、何を)	開設公園
事業の手段・方法 (どのように)	公園施設の老朽化に伴い、計画的なリニューアル工事
実 施 期 間	☑ 継続(平成 24 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度 + 市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市公園法施行令第7条

2 4	F業費等	0.5.7	un refer	20.1	un robe		to other		ture order	
	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		(決	手度 算)	(予	年度 算)	H29/H28
	事業費(千円)		59,900		67,526	8,856		100,000		13.1%
主な	請負費		57,172		67,526		8,856		100,000	13.1%
内	設計委託料		2,268							-
訳	水道企業会計繰出金		460							-
	人 件 費 (人·千円)	0.81	6,156	0.20	1,480	0.22	1,672	0.23	1,716	110.0%
	正職員	0.81	6,156	0.20	1,480	0.22	1,672	0.21	1,638	110.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.02	78	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		66,056		69,006		10,528		101,716	15.3%
	国·府支出金		20,000		22,750		3,000		27,000	13.2%
財	地方債		18,000		21,600				24,300	0.0%
	その他()									-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		28,056		24,656		7,528		50,416	30.5%
	一般財源比率 C÷A		42.5%		35.7%		71.5%		49.6%	200.1%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実施済(平成		年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		l
	上記の内容									

アウ			

3 /	ソトン	<u> </u>	ング評価												
	現状の	のアウ	トソーシンク	Ť		1 すべ	で導力	\済		2 2 -	一部導入済	i	□ 3 =	未導入	
13	スは20	の場合	合:導入の刻	効果		コスト削	減		サー	ビス向上	☑ 事務	务簡略化	□ その)他 ()
		上	記の内容		設計刻	業務につ	いては	委託して	こいる。						
今後			の場合: のアウトソー:	シング		可能			Ø	不可能					
	可能	の場合	合:導入可能/	な業務											
		見	込まれる效	果		コスト削	減		サー	ビス向上	□ 事務	务簡略化	□ その)他 ()
			上記の内	内容											
	不可	能の地	場合:選択の	つ理由	工事(こついて	はアウト	ソーシン	ノグの考	きえ方は無い	١,				
4 月	見果の	達成	状況、有效	効性・効	上	評価									
	実施計画		区 :	分		内		容		単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標										(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指	☆			成果		工	事の件	数		件	7	5	1	7	14
標				成果											
値				成果											
				成果成果											
	. (1)		達成状況	以 未		A 順調	日ノア十仕チ	タ1 ブ1.	\Z		百調 / 大批・投	していない		 C 判断で	でキナal. \
	140.		択の理由			に工事を					只明(二)出7》			C 71991	C G, Y A .
有	目的		のための有			#	対効的で) ₀		4. ギ ホ 人 地	15.4 A L		め的でない	
有 効 性	P		:なっている; は効率的に		\overline{Z}	, (L	改善の名 効率的で		\$l v)		改善の余地:		(1/X)	本的な見直し 室的でない	が必要)
効			できているか		\square		火善 の糸		\$l v)	☐ B i	改善の余地:	がある 🗌		本的な見直し	が必要)
率性評価		票値や	択の理由 事業費の推 言及して記	住移(こ						に工事を く必要がる	実施している ある。	5.			
_			及び担当部		評価										
			成29年度には見直し(直			実施	平,	成	年度			☑ 未実	施		
		見正	直しの内容												
			度の取組 毎度比)			1 拡充	.	1 2 E	見状維	持	3 縮小	□ 4 厚	差止	5 その他	1
		上	記の内容		市内	公園の第	安全•安	・心な再	整備	L事は公園	管理者とし	ての責務で	·ある。		
現在	抱える	課題	課是							置されてい 明に苦慮し		基準では安	全領域上	、同等規模	の遊具設置
7	の対象	策	対 箩		計画.	段階から	地域=	ミュニ・	ティやは	也元自治会	⇔と協働して	て公園整備を	計画して	<i>ب</i> ر.	
			上	記の許	平価を	踏まえ	て、担	当部县	長が考	える今後	(平成31年	E度以降)♂	取組方針	+	
		取組	1方針			1 拡充	.	1 2 §	見状維	持	3 縮小	□ 4 厚	€ □	5 その他	1
		選	択の理由									きる都市公園 セプトをもっ			

担当	部署名	環境部公	園みどり課	担当課長名	西野健一				
(※)第2期実施	証計画の事業名	公園台帳	財務会計上の事業名		公園台帳作成事業				
(※) 第2期 分類番号	3052	5	財務会計上	- の短縮番号 9237					
	章	第3章人、環境にやさ	第3章人. 環境にやさしい安全・安心なまち						
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
	項目	項目2都市計画公園の整備							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概	Œ
1	宇宙 宇来ツ州	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()						
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	台帳のデジタル化により、事務の効率化及び公園施設の中長期的な計画に基づく管理						
事業の対象 (誰を、何を)	公園台帳						
事業の手段・方法 (どのように)	公園台帳のデジタル化						
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)						
実 施 根 拠	☑ 国・府の制度 □ 国・府の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度						
※根拠法とその条項	都市公園法第17条						

2 事	「業費等									
	区 分	27 年度 (決算)		28 年度 (決算)			29 年度 (決算)		丰度 算)	H29/H28
	事業費(千円)	1,804		1,836		1,836		2,000		100.0%
主な	台帳作成委託料		1,804		1,836		1,836		2,000	100.0%
内										_
訳										_
	人 件 費 (人・千円)	0.20	1,520	0.11	814	0.1	7 1,178	0.19	1,326	154.5%
	正職員	0.20	1,520	0.11	814	0.1	4 1,064	0.15	1,170	127.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.0	3 114	0.04	156	_
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		3,324	-	2,650		3,014		3,326	113.7%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
源	その他()									_
你	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		3,324		2,650		3,014		3,326	113.7%
	一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
	受益者負担率 B÷A									_
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		<u> </u>	実施予定	Z	3 予定無	l
	上記の内容									

_		 	 • •
	アウ		

3)	シャン	<u>/ーン</u>	ンク評価	0												
	現状	のアウ	トソーシン	ノグ	Ø	1 す~	ヾて導え	人済		□ 2 -	一部導入済		□ 3 ;	未導	入	
13	スは20	の場合	合:導入	の効果		コスト肖	削減] サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その)他	()
		上	記の内容	:	台帳作	作成業務	その全て	を実施								
今後			の場合:	ーシング		可能				不可能						
	可能	の場合	合:導入可	能な業務												
		見	し込まれる	効果		コスト肖	削減] サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その	他	()
			上記の	り内容												
	不可	能の地	場合:選抜	尺の理由												
4 д	丈果の	達成	状況、有	勃性•	办率性	t評価										
	実施計画		区	分		内		容		単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	# 1.2	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
指			活動	」成果	台帕	長がデジ	タル化さ	されたグ	園数	箇所	6	7	3	1	4	-
標			活動	〕成果												
値			活動	〕成果												
			活動	〕成果												
			活動	〕成果												
	成	果の	達成状況	2	Ø	A 順調	間に推利	多してい	いる	□в∭	頁調に推移し	していない			判断で	きない
		選	択の理由	3	遊具	の多い	や園公	規模が	大きく利	利用頻度の	高い公園の	つ台帳整備を	優先的	こ整	備している	5.
有効			のための なってい		Ø		有効的で 改善の		ない)	□Ві	改善の余地が	ぶある 🗌			でない 」な見直しか	ぶ必要)
性・			は効率的 できている		Ø		効率的で 改善の		ない)	□В	改善の余地 か	ぶある 🗌			でない 」な見直しか	ぶ必要)
効率性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	推移に	デジ	タル化さ	れた公	遠につ	ついてた	は、事務手組	続きや設計の	の効率化が	図られる			
			及び担当		評価											
			成29年度 見 直 し(実施	平	成	年度	:		☑ 未実	施			
		見证	直しの内容	容												
			E度の取約 毎度比)	II.		1 拡升	t 🗸	2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL _] 5	5 その他	
		上	記の内容	:	公園	台帳の	整備は	公園管	理者の	責務である	5.					
現在	抱える	課題	課	題	現行 いる。		は、新規	見でデ	ジタル们	ヒできる公	園数が少なぐ	く事務手続き	き、計画・言	设計	等に支障	が生じて
7	の対	策	対	策	予算	配分を見	見直しな	公園台	帳のデミ	ジタル化を早	型期に整備で	することが必	要			
	上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針															
		取組	1方針			1 拡芽	₹ 5	2	現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	£1F [] 5	5 その他	
		選	択の理由	∃	法的	に公園	管理者	として!	公園台幅	帳を作成す	る必要があ	る。				

担当	部署名	環境部公	園みどり課	担当課長名	西野健一				
(※) 第2期実施	計画の事業名	五月山緑均	財務会計上の事業名		五月山緑地整備事業				
(※) 第2期実施計画の 分類番号/事業番号 3052 7					財務会計上の短縮番号 5273				
	章	第3章人、環境にやさ	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち						
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり						
	項目	項目2都市計画公園の整備							

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

事務事業	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	五月山の保全を最大限考慮した上で整備を行い、市民の憩いの場所とする。
事業の対象 (誰を、何を)	五月山緑地
事業の手段・方法 (どのように)	五月山緑地内の施設の整備
実施期間	☑ 継続昭和 28 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実施根拠	□ 国·府の制度 ☑ 国·府の制度 + 市独自の制度 □ 市独自の制度
※根拠法とその条項	都市計画法第59条、第60条

4 7	業費等									
	区 分	27 年度 (決算)		28 年 (決)			年度 :算)	30 年度 (予算)		H29/H28
	事業費(千円)	46,796		3,477		19,375		0		557.2%
主	請負費	43,470			0		15,876		0	-
主な内	設計委託料		3,326		3,477		3,499		0	100.6%
訳										-
	人 件 費 (人・千円)	0.19	1,444	0.22	1,628	0.24	1,748	0.19	1,365	109.1%
	正職員	0.19	1,444	0.22	1,628	0.22	1,672	0.16	1,248	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.02	76	0.03	117	-
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A	48,240		5,105		21,123		1,365		413.8%
	国·府支出金		5,000			7,938				-
財	地方債		4,500							-
,	その他()		37,296							-
源	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		1,444		5,105		13,185		1,365	258.3%
	一般財源比率 C÷A		3.0%		100.0%		62.4%		100.0%	62.4%
	受益者負担率 B÷A									-
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		L
	上記の内容									

	ーシン		

3 /	ソロン	<u>/ーン</u>	ンク評価	Щ										
	現状	のアウ	トソーシン	ング		1 すべ	て導入	済	2 2 -	一部導入済		□ 3 ₹	卡導入	
13	Zは2	の場合	合:導入	の効果		コスト削液	咸	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その	他 ()
		上	記の内容	ř	設計	業務を委託	ELTN	る 。						
今後			の場合:			可能		Ø	不可能					
	可能	の場合	合:導入可	能な業務										
		見	し込まれる	5効果		コスト削液	咸	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その	他 ()
			上記の	の内容										
	不可	能の地	場合:選打	沢の理由	工事に	こついては	はアウトソ	ーシングのネ	考え方は無い	١,				
4 5	と果の	達成	状况、有	有効性・タ	小率 性									
	実施計画		区	分		内		容	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標									(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指	☆			」 成果		避難	有効面	積	m²	14,400	14,400	14,400	14,400	19,000
標				」 成果										
値				成果										
				」 成果										
	دات			成果		. wrtam	- W			Tam) - 1/6-740			a statiler -	
	JJX.		達成状態			A順調				頁調に推移し			C判断で	
	日白		択の理目のための			右	整備は効的で					右が	寄与している h的でない	00
有効性		内容と	なってい	るか		A (改		地がない)	∠ B i	改善の余地 か	ぶある 🗌	C (抜	本的な見直した と的でない	が必要)
対 効			は効率的できている					po 地がない)	☑ B i	改善の余地 が	ぶる 🗌		本的な見直した	が必要)
率性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	の推移に									画の課題やラ く必要がある	
				当部長の	評価									
			成29年度見直し			実施		26 年度			□ 未実			
		見正	直しの内容	容	費用: なっ!		析を行	ない、B/C	=3. 11であ	ったため、	事業継続を	行っても使	益は得られ	る結果に
			E度の取約 9年度比)			1 拡充		2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ETF 🗌	5 その他	
		上	記の内容	7	実行	予算はな	いが、∃	五月山緑地	全体のマネ	ジメントを検	討していく	0		
現在	抱える レ	課題	課	題									足間活力の導	
7	その対策 対策			策	防災性・安全性の向上に配慮した公園整備を行うとともに、民間活力の導入も視野に入れた計画に 基づく整備が必要。									
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当	当部長が考	える今後	平成31年	度以降)の	取組方針	t	
		取組	1方針		Ø	1 拡充		2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ET	5 その他	
		選	択の理目	Ħ									して、民間活 ていく必要が	

担当	部署名	市民生活部	担当課長名	水浦 邦子					
(※) 第2期実施	証計画の事業名	霊園維持	管理事業	財務会計上の事業名		霊園維持管理事業			
(※) 第2期実施計画の 分類番号/事業番号		3052	10	財務会計上の短縮番号		3595			
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
	項目	項目2都市計画公園の	****						

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概	Œ
1	宇宙 宇来ツ州	

会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □ 特別会計() □ 企業会計()
事 業 の 目 的 (どのような結果を得るか)	五月山霊園の適切な維持管理
事業の対象 (誰を、何を)	五月山霊園
事業の手段・方法 (どのように)	(一財)池田市公共施設管理公社に補助金を支出し、維持管理業務を実施。
実 施 期 間	☑ 継続(平成 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)
実 施 根 拠	□ 国·府の制度 □ 国·府の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度
※根拠法とその条項	五月山霊園使用条例

2 号	来實等							_		
	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決		30 ⁴ (予		H29/H28
	事業費(千円)		5,095	8,096		8,182		8,210		101.1%
主	補助金	5,095			4,091		4,186		4,186	102.3%
な内	植栽管理委託料				4,005		3,996		4,024	99.8%
訳										-
	人 件 費 (人·千円)	0.35	2,660	0.62	2,688	0.70	3,420	0.91	5,148	112.9%
	正職員	0.35	2,660	0.12	888	0.20	1,520	0.41	3,198	166.7%
	再任用短時間勤務職員		0	0.50	1,800	0.50	1,900	0.50	1,950	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A		7,755		10,784		11,602		13,358	107.6%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
, .	その他()		5,095	8,096		8,182			8,210	101.1%
源	うち受益者負担 B		5,095		8,096	8,182			8,210	101.1%
	一般財源 C		2,660		2,688		3,420		5,148	127.2%
	一般財源比率 C÷A		34.3%		24.9%		29.5%		38.5%	118.3%
	受益者負担率 B÷A		65.7%		75.1%		70.5%		61.5%	93.9%
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実施予定		☑ 3 予定無		l
	上記の内容									

アウ			

<u> </u>	ソトノー	,,,	肝Щ										
	現状のア	゚゙ウトソー	ーシング	Ø	1 すべて		□ 2 -	一部導入済		□ 3 未	導入		
17	スは2の場	易合:導	入の効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その個	<u>h</u> ()	
		上記の	内容	(一財	け)池田みどり	スポーツ財団に補	助金を支出	して維持管理	里を実施。				
今後	2又に	t3の場 分のアウ	合: カトソーシング		□ 可能 □ 不可能								
	可能の場	場合:導力	入可能な業務										
		見込ま	れる効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>h</u> ()	
		F	:記の内容										
	不可能	の場合:	選択の理由										
4 月	以果の達	成状汚	1、有効性・3	为率性	評価						_		
	実施 計画	区	分		内	容	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値	
	目標				-##-T	- No.	pl.	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指] 活動			墓所	T数	件	2,897	2,897	2,897	2,897	-	
標													
値													
		」「百數											
		の達成			A 順調に	性移している	<u> </u>	】 頁調に推移し	ていない		C 判断で	きない	
		選択の		-		切な維持管理が					- 13//14		
有			めの有効な	Ø	, 有効	的である の余地がない)		女善の余地が	ぶある □	C 有効i	的でない	2 2/ HE)	
効性	事	業は効			A 効率I	的である		女善の余地が		c 効率i	的な見直した		
効率性評価	(指標値	選択の	でいるか 理由 は費の推移に して記入)	(一)	f) 池田市公	の余地がない) 共施設管理公社 化を図ることが出	上内における	5道路、河川		(扱本	的な見直した		
			担当部長の	評価									
平成事	25年度~ 業内容	平成294 の 見 直	年度における ① し(直近)		実施	平成 年度			☑ 未実	施			
		見直しの)内容										
		年度の 29年度			1 拡充	☑ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	計 □	5 その他		
		上記の	内容	五月	山霊園の植	栽管理を含め、	アウトソーシ	ングにて霊	園の維持管	デ理を実施し	ていく。		
現在	抱える課	題	課題	(一則	才)池田市公	共施設管理公社	上への補助	金減額に伴	い、サービ	ス低下の恐	れがある。		
そ	の対策		対 策	(一則	才)池田市公	共施設管理公社	上との調整を	と行い、サー	-ビス低下せ	ず維持管理	里を実施させ	±る。	
			上記の	評価を	と踏まえて、	担当部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針			
	取	組方金	+		1 拡充	☑ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	£# 🗌	5 その他		
	ì	選択の	理由			田市公共施設管予定ため、業務を				里業務を行っ	っているが、	指定管理	

担当	部署名	市民生活部	担当課長名 水浦 邦子						
(※) 第2期実施	証計画の事業名	霊園墓	参事業	財務会計上の事業名		霊園墓参事業			
(※) 第2期実施計画の 分類番号/事業番号		3052	11	財務会計上の短縮番号		3590			
	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち							
総合計画の体系	節	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり							
	項目	項目2都市計画公園の				m+/<			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1	事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	Ø	一般会計	□ 特別	J会計 ()	□ 企業	美会計	()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	墓参	者の利便性の向	止						
事業の対象 (誰を、何を)	五月	山霊園墓参者							
事業の手段・方法 (どのように)	盆、1	皮岸時期に墓参	バスを借上	げ、阪急池田駅~	~市営五月1	山霊園間を	運行。		
実施期間	Ø	継続(平成	年度~)		時限 (平成	年度	€ ~	平成	年度)
実施根拠		国・府の制度		国・府の制度+	市独自の制	度 🗸	市独	自の制度	
※根拠法とその条項									

2 車業毒等

2 4	事業費等				_					
	区 分	27 ⁴ (決		28 ⁴ (決		29 ⁴ (決	手度 算)	30 ⁴ (予		H29/H28
	事業費(千円)		1,786		1,723		1,592		1,901	92.4%
主	自動車借上料		1,485		1,620		1,489	1,798		91.9%
な内	シルバーセンター活用事業委託料		103	103		103		103		100.0%
訳										-
	人 件 費 (人·千円)	0.52	2,142	0.62	2,688	0.70	3,420	0.71	3,588	112.9%
	正職員	0.21	1,596	0.12	888	0.20	1,520	0.21	1,638	166.7%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36	0.50	1,800	0.50	1,900	0.50	1,950	100.0%
内	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
訳	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.30	510		0		0		0	-
	支 出 合 計 A	3,928			4,411		5,012		5,489	113.6%
	国·府支出金									-
財	地方債									-
,	その他(霊園使用料)		1,786		1,723		1,592		1,901	92.4%
源	うち受益者負担 В		1,786		1,723		1,592		1,901	92.4%
	一般財源 C		2,142		2,688		3,420		3,588	127.2%
	一般財源比率 C÷A		54.5%		60.9%		68.2%		65.4%	112.0%
	受益者負担率 B÷A		45.5%		39.1%		31.8%		34.6%	81.3%
	受益者負担の見直し	□ 1 実	施済(平成	年度)		□ 2 実	施予定	Ø	3 予定無	L
	上記の内容									

3	アウ	トソ・	 ·/	ゲ証	価

3 /	ソロン	<u>/ーン</u>	ンク 評1	Щ												
	現状	のアウ	トソーシ	ング	Ø	1 すべ	て導入浴	f	□ 2 -	·部導入済		□ 3 未	導入			
13	Zは2	の場合	合:導入	の効果	Ø	コスト削液	咸	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>tt</u> ()		
		上	記の内容	ř	墓参	バスの運行	1									
今後			の場合:			可能			不可能							
	可能	の場合	合:導入可	能な業務												
		見	し込まれる	5効果		コスト削液	咸	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	<u>tt</u> ()		
			上記の	の内容												
	不可	能の場	場合:選打	沢の理由												
4 页	くりゅう システィア シェスティ シェスティ しょうしゅ しょうしゅ しょうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	達成	状況、1	有効性・	办率 性	評価										
	実施 計画		区	分		内		容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値		
	目標		V- 4-1 1			左眼	YOU 45 11 48	_	-	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)		
指				成果		年間運行日数			人	10	10	10	10	10		
標				✓ 成果□ 成果			バス利用者			3,694	3,575	3,071	3,500	3,400以」		
値				」成果												
				」 成果												
	成		達成状況		N	A 順調	ご推移]	ている	Пвш	 調に推移し	ていたい		 C 判断で	きない		
	///		状の理師		-				多しているだ				- 1351			
有		内達成	のための	有効な		, 有	効的であ	る		文善の余地が			的でない			
効性			なってい は効率的			幼	善の余地 率的であ	,				/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	的な見直し 的でない	が必要)		
効率			できてい			― (以音の示地がない) ― (仮卒のよ兄直しが必安)										
牛性評価		票値や	択の理由 事業費の 言及して	の推移に		成果指標であるバス利用者数は天候にも左右されるが概ね維持されており、一定の成果を得られている。効率性については、バス借上単価が上昇しているが、借上台数を調整することで対応してい 5。										
				当部長の	評価											
			成29年度 見直し		Ø	実施	平成	年度			□ 未実	施				
		見正	直しの内	容	バス(の停車場	所を霊園	付近に変	更し、停車が	場所と霊園	間の警備委	託料を削減	ζ.,			
			度の取締 9年度比)			1 拡充	Ø	2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u> </u>	5 その他			
		上	記の内容	Ŧ	墓参	者の移動	手段を確	催保するた	め、現在の	事業を継続	する。					
現在	抱える	課題	課	題	高齢	者の乗車	が多いた	こめ、より一	層の安全選	[転が必要]	である。					
7	<i>と</i> の対	策	対	策	墓参	バスの受	托業者に	二注意を促	し、安全運	伝で実施さ	せる。					
				上記の記	評価を	と踏まえて	て、担当	部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針				
		取組	1方針			1 拡充	\square	2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	<u></u>	5 その他			
		選	択の理師	ф	難な	状況であ	5。墓参	バスは安定	した利用者	せず、自家月 分数で運行し 導入を予定	ており、霊					
					_											

	担当	部署名		電音部 公	園みどり課		担当課長名 西野健一								
(3		E計画の事業名		3K36H72A1	More your		財務会計」	トの車業を	·	緑地災害復	印車業				
G	(※) 第2期	実施計画の					財務会計上		- 11.77 [11]	7740	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	分類番号	/事業番号	笠0辛1	環境にやさ	1.4.4.4	1.45+4	州伤云山上	V/応相省 ケ		1140					
An A :	17.4.5														
総合	計画の体系			子な自然環境		よりつくり									
		項目	項目2都市	f計画公園 <i>0</i>)整備	※ 総合	計画第6章に	区乙重型け「約	h 田古行財政	み苦蜂准プラ	ン用コケトス				
1 4	豚事業 の	概要				<i>№</i> № □	H E 370 - (C)	W.O. 4 JK 10. 1	E I II II I I I I	以中国地グノ	v 11,10000				
4	会計区分(会	会計名を記入)	☑ 一般	2会計	□ 特別:	会計 ()		企業会計	()				
		の 目 的 吉果を得るか)	公園利用者の安全確保												
	事業の	の対象 、何を)	五月山緑地												
	事業の手	、Pic) F段・方法 ように)	集中豪雨により被害を受けた法面の復旧												
		期間	✓ 継続	▼ 継続(平成 28 年度~) □ 時限(平成 年度 ~ 平成 年度)											
		根拠		府の制度		国・府の制	度+市独自		市独		~.				
	※根拠法と		都市公園			<u> </u>									
	事業費等		др. т. — тры												
٦	 			年度	28 4			 手度	30 4	H29/H28					
	事 業	費(千円)	(7)	·算)	(決:	昇) 11,124	(決	昇) 0	(予	昇) 35,000	0.0%				
±:		請負費				11,124				35,000	0.0%				
主な内訳											-				
訳											-				
	人件費	(人・千円)	0.00	0	0.27	1,808	0.15	1,102	0.18	1,365	55.6%				
		正職員		0	0.22	1,628	0.14	1,064	0.17	1,326	63.6%				
	再任用短	豆時間勤務職員		0	0.05	180	0.01	38	0.01	39	20.0%				
内	任期付職	战員(フルタイム)		0		0		0		0	-				
訳	任期付職	員(短時間勤務)		0		0		0		0	-				
	非	常勤職員		0		0		0		0	-				
		的任用職員		0		0		0		0	_				
		合計 🗛		0		12,932		1,102		36,365	8.5%				
		府支出金				44 47-				05.00	-				
財		地方債				11,100				35,000	0.0%				
源	その他(-				
		受益者負担 B 般財源 C				1 000		1 100		1 905					
		www.c 上率 C÷A	0 1,832 1,102 1,365 14.2% 100.0% 3.8%							60.2% 705.9%					
		L率 U÷A E率 B÷A				14.2%		100.0%		3.6%	100.9%				
		担の見直し	1 °	実施済 (平成	生 年度)		□ 2 実	施予定		3 予定無	L L				
		記の内容		~#E1H (F#)	· -/2/			.//E. J. AL.	•	0 1 1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/					
		BPAN 14T													

3	アウ	トソ・	ーシン	ノサ		Ĥ

<u> </u>	717 7	イング 計画											
	現状のアウ	カトソーシング		1 すべで		□ 2 -	一部導入済		☑ 3 未	尊入			
13	スは2の場	合:導入の効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	1 ()		
		:記の内容											
今後		3の場合: ↑のアウトソーシング		可能	Ø	不可能							
	可能の場	合:導入可能な業務											
]	見込まれる効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その他	1 ()		
		上記の内容											
	不可能の		公園管	管理者としての	の責務								
4 5													
4 A	実施	状况、有効性・3	タギュエ			277 14.	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値		
	計画目標	区 分		内	容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)		
指	☑	活動 🗌 成果		復旧した公	:園施設数	カ所	0	1	0	1			
標		活動 □ 成果											
値		活動 □ 成果											
		活動 □ 成果											
		活動 □ 成果											
	成果の	達成状況		A 順調に	惟移している	□ B M	頁調に推移し	ていない	Ø	C 判断で	きない		
		択の理由	いつカ		いらない災害に対	し判断がて	ごきない		-4-1-1				
有効	内容。	成のための有効な となっているか	Ø	A (改善	的である の余地がない)	□В₫	女善の余地が	ぶある 🗌	(抜本	りでない 的な見直した	ぶ必要)		
性・効		は効率的に できているか	Ø		的である の余地がない)	□В₫	攻善の余地が	ぶある 🗌		りでない 的な見直した	ぶ必要)		
※ 性評		対の理由 や事業費の推移に	適切り	質切に災害復旧工事を実施している。									
価		言及して記入)											
		及び担当部長の	評価										
		成29年度における り見直し(直近)		実施	平成 年度			☑ 未実	施				
	見	直しの内容											
		F度の取組 9年度比)		1 拡充	□ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL 🔽	5 その他			
	1	:記の内容	災害	が発生した	祭、速やかに対応	 なする。							
現在	抱える課題	課題	災害	発生箇所の	予測								
7	の対策	対 策	日々(のパトロール	レ及び専門家の 原	点検調査							
		上記の	評価を	:踏まえて、	担当部長が考	える今後(平成31年	度以降)の	取組方針				
	取約	且方針	Ø	1 拡充	□ 2 現状維	持	3 縮小	□ 4 廃	ELL	5 その他			
	選	択の理由		でも災害リス が重要。	クを低減させるた	こめ、日常の)パトロール	や専門技術	所者による定	期点検をま	尾施してい		
			_										

	担当台	邻署 名		環境部公	園みどり課		担当課長名 西野健一								
()	※) 第2期実施	計画の事業名					財務	务会計上	:の事業名		ウォン	/バットラ	之入	事業	
		実施計画の /事業番号					財務	会計上の	の短縮番号			5181			
		章	第3章人。	環境にやさし	い安全・安	そ心なまち									
総合	計画の体系	節	第5節良妇	な自然環境	色を生かした	まちづくり									
		項目	項目2都市	f計画公園0	整備										
						※総合	計画第	56章に依	系る事業は「浴	也田市行	f財政i	改革推進	プラ	ンⅡ」によ	
	「務事業の 会計区分(全	微要 (計名を記入)	☑ 一般	全計	□ 特別	全計 ()		企業:	수計	()	
	事業の	り目的					址				ДП				
-		吉果を得るか) の対象	五月山動物園に新たにウォンバットを受入れ、来園者数の増加を目指す 五月山動物園												
		(何を) 段・方法		五月山動物園											
	(どの	ように)	ウォンバッ	オンバットの受入に伴う事務手続きなどを行う。											
		期間	□継続	(平成	年度~)		Ø	時限	(平成 29	年度	~	平成 2	29	年度)	
	実施	根拠	□ 国・府	舟の制度		国・府の制	度+	市独自	の制度	Ø	市独自	自の制度	Ē		
	※根拠法と	その条項													
2 事	業費等														
	区	分		年度 :算)		28 年度 (決算)			29 年度 (決算)			30 年度 (予算)			
	事業	費(千円)							2,995						
主		委託料							2,995						
主な内															
訳															
	人件費	(人・千円)	0.00	0	0.00	0		0.20	1,520		0.00		0		
	:	正職員		0		0		0.20	1,520				0		
		語時間勤務職員		0		0			0				0		
内		遺(フルタイム)		0		0			0				0		
訳		員(短時間勤務)		0		0			0				0		
		常勤職員		0		0			0				0		
		的任用職員		0		0			0				0		
		合 計 A		0		0			4,515				0		
		府支出金 地方債													
財	その他(2,995						
源		受益者負担 B							2,995						
		投財源 C		0		0			1,520				0		
		上率 C÷A		0					33.7%						
		上率 B÷A													
		担の見直し	□ 1 簿	尾施済 (平成	年度))		2 実	施予定	<u> </u>	$ \overline{\triangleright} $	3 予定	無		
		記の内容			. 1,2,			- /				. ,			
		1 4-M.													

3 7	アウトン	ノーシ	ング割	萨価									
	現状の	のアウ	トソーミ	ノング	Ø	1 すべて導	拿入済	□ 2 -	一部導入済		□ 3 未	導入	
13	スは20	の場合	今:導力	人の効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	☑ 事務	簡略化	□ その値	<u>h</u> (
	上記の内容					バットの受入! 者に委託。	こ伴う輸送、通関	、検疫などの	業務、またり	ウォンバットが	が特殊な動物	である事から	それぞれ』
今後	2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシンク					可能		不可能					
	可能の場合:導入可能な業務												
		見	し込まれ	る効果		コスト削減	□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ その値	<u>tt</u> (
			上記	己の内容									
	不可	能の均	場合:通	選択の理由									
4 页	戊果の	達成	状況、	有効性・タ	办率性	上評価							
	実施計画		区	分		内	容	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
	目標		<u></u>	23		1.4	41	7 12	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)

ı			上記じケント	14	門業者	者に委	託。								
I	今後		は3の場合	会: トソーシング		可能				不可能					
l		可能の場	場合:導入	可能な業務											
l			見込ま	れる効果		コスト	削減		□ サー	ビス向上	□ 事務	簡略化	□ そのf	也 (
l			Ŀ	記の内容											
l		不可能	カ担会・:	選択の理由											
Į															
ſ	4 月		成状况	、有効性・弦	沙率性	評価					on terrir	oo terete	oo te ete	a a terrete	
l		実施 計画 目標	区	分		内		茗	\$	単 位	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (実績)	30 年度 (予定)	目標値 (H30)
l	指		活動	☑ 成果			来園和	者数		人	506,606	512,635	564,721	-	-
l	標		活動	☑ 成果		ウォンバット数			頭	3	3	5	5	-	
l	値		活動	□ 成果											
l			活動	□ 成果											
l			活動	□ 成果											
I		成果の	の達成な	犬況	Ø	A 順	調に推	隹移し	ている	□В∭	[調に推移]	していない		C 判断で	きない
l		3	選択の理	里由	適切	にウォ	ンバッ	トの受	入に関す	る事務手続	きを執行し	ている。			
I	有効		:成のた& ドとなって	りの有効な こいるか	Ø	А		的である の余地	5 がない)	□В₫	女善の余地が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
l	性・		業は効率 施できて		Ø	А		りである の余地	5 がない)	□вф	女善の余地が	ぶある 🗌		的でない 的な見直した	ぶ必要)
	効率性評価	(指標値		里由 費の推移に して記入)		29年度 してい		たなウ	オンバット	を受け入れ	たことにより)、更なる来	園者数の増	加が見込ま	きれるもの
	5	題と対	策及び	担当部長の	評価										
I		25年度~ 業 内 容		度における し(直近)		実施	-	平成	年度			☑ 未実	施		
l		إ	見直しの	内容											
İ			年度の 29年度			1 拡	充		2 現状維	持	3 縮小	□ 4 月	€ F □	5 その他	
l			上記のア	內容	今後	もウォン	ンバット	トの受力	入につい	て、各部局	上連携を図り	りながら必要	更に応じて検	討していく。	•
İ	現在	抱える課	題	課 題	園舎	の老杯	化								
l	そ	との対策		対策					に園舎の		ていくこと	が必要。将	来はウォンバ	ジトを中心	とした魅力
ł				上記の							平成31年	度以降)の	取組方針		
ł		JH:	組方針			1 拡	'		2 現状維	, , , , ,	3 縮小	□ 4 B		5 その他	
		40	ハコエノノ 単1		_					_					P
		i	選択の理	里由	がった	た考え	られる	。今後	も、より一		しての魅力	を高めるた	高まり、観光 めに、観光		